

令和2年2月19日

2020年度野球規則改正の要点解説

日本高等学校野球連盟
審判規則委員会

注：（ ）内数字は今回改正された16項目の符号

- (1) 走者についての関連規則が追加された。[関連規則(8)(9)(13)]
- (2) 投球が打者の身に着けている装身具にだけ触れても、触れたことにはならない。
[関連規則(15)(16)]
- (3) 四球目、三振目の投球が球審の身体に挟まって止まった場合も、走者に1個の塁が与えられる。[関連規則(4)]
- (4) 投球が球審の身体に挟まって止まった場合も、各走者は進む。
- (5) 投球姿勢において、“投球動作と投球に関連する動作”を明確にした。また、いわゆる2段モーションの規則をなくすことに伴い、言葉の表現を明確にした。高校野球では、いわゆる2段モーションの規則がなくなっても、正しい投球姿勢（スムーズな投球姿勢）の励行・徹底が重要であり、今後も“従来通り”の運用として指導及び規則適用とする。[関連規則(6)(7)(12)]
- (6) 投球姿勢において、“中断および変更とは何か”を明確にした。
- (7) 投球姿勢において、“投球動作と投球に関連する動作”を明確にしたことに伴い、言葉の表現を変更した。
- (8) 走者がフェアの打球にフェア地域で触れた場合の従来解釈の変更に伴い、走者がフェアの打球にフェア地域で触れた場合、例外規則を除いてすべてアウトになる。文言の変更に伴い、例外規則の表記の位置を移動した。
- (9) 走者がフェアの打球にフェア地域で触れた場合の従来解釈の変更に伴い、文言の削除があった。
- (10) マイナーリーグで適用される投手の交代についての規則が追加された。わが国では適用しない。（今後、メジャーリーグなどの動向を見ながら検討していく）
- (11) メジャーリーグで適用されるマウンドに行く回数の制限が変更された。高校野球では、すでに高校野球特別規則15で定めている。
- (12) 塁に走者がいる場合、正規の投球姿勢に定めている投球動作に違反した場合、ボークになる。高校野球では、“従来通り”の運用として指導及び規則適用とする。
- (13) 走者がフェアの打球にフェア地域で触れた場合の従来解釈の変更に伴い、文言の変更があった。
- (14) メジャーリーグにおいて、公式記録員に関する規則の変更があった。
- (15) プレーヤーが身に着けている装身具に触球しても、触球にはならない。
- (16) プレーヤーが身に着けている装身具にタッチしても、触れたことにはならない。

以上